

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁(JP)

(12)登録実用新案公報(U)

(11)実用新案登録番号

第3004172号

(45)発行日 平成6年(1994)11月8日

(24)登録日 平成6年(1994)8月31日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

片内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 5 D 85/57
85/00

J 7191-3E
H 8111-3E

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 OL (全 7 頁)

(21)出願番号 実願平6-5074

(22)出願日 平成6年(1994)5月12日

(73)実用新案権者 000190116

信越ポリマー株式会社

東京都中央区日本橋本町4丁目3番5号

(72)考案者 鷹取 工

東京都中央区日本橋本町4丁目3番5号

信越ポリマー株式会社 本社内

(72)考案者 越野 克博

東京都中央区日本橋本町4丁目3番5号

信越ポリマー株式会社 本社内

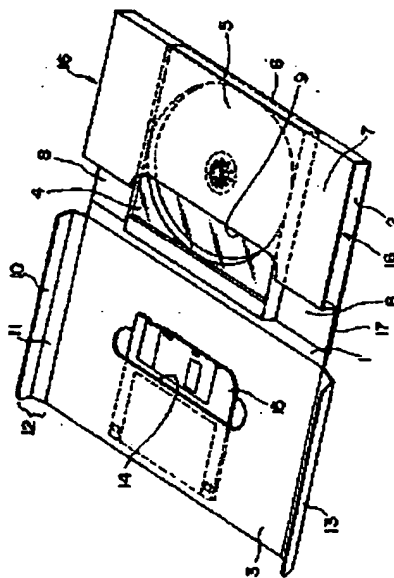
(74)代理人 弁理士 山本 亮一 (外1名)

(54)【考案の名称】 ブック型コンパクトディスクケース収納用ホルダー

(57)【要約】 (修正有)

【目的】本考案は、コンパクトディスクケースと解説本、FD等と一緒に組み合わせて収納できる小型で簡易なブック型のホルダーを提供することを目的とする。

【構成】本考案のブック型コンパクトディスクケースは、二つ折形式の箱型収納容器であり、一方の表紙2の内側面にコンパクトディスクケース4を収容する収納部5が形成され、この収納部5は、この表紙の小口側辺縁6から立上って表紙の内側面と平行なカバー部材7で袋状にされ、このカバー部材7は、中央部よりも背表紙側に延びて、表紙内側面に折曲し、その先端辺縁部8が表紙2の内側面に貼着され、その折曲部に前記ケース受け入れ用開口9が形成され、他方の表紙3の上下辺縁には、前記ケース収納部の上下開口に挿入されるフラップ12、13が一体に取り付けられ、その表紙の内側面には、コンパクトディスクに必要な組み合わせ部材15を保持させることのできる構成である。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 二つ折形式の箱型収納容器であって、一方の表紙の内側にコンパクトディスクケースを収容する収納部が形成され、この収納部は、一方の表紙の内側面と小口側辺縁から立ち上がって表紙の内側面と平行なカバー部材で装填にされ、このカバー部材は、中央部よりも背表紙側に延びて、表紙内側面に折曲し、その先端辺縁部が表紙内側面に貼着され、その折曲部に前記ケース受け入れ用開口が形成され、他方の表紙の上下辺縁には、前記ケース収納部の上下開口に挿入されるフラップが一体に取り付けられ、その表紙の内側面には、コンパクトディスクに必要な組み合わせ部材を保持させることを特徴とするブック型コンパクトディスクケース収納用ホルダー。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案のブック型コンパクトディスクケース収納用ホルダーの開いた状態の斜視図である。

*

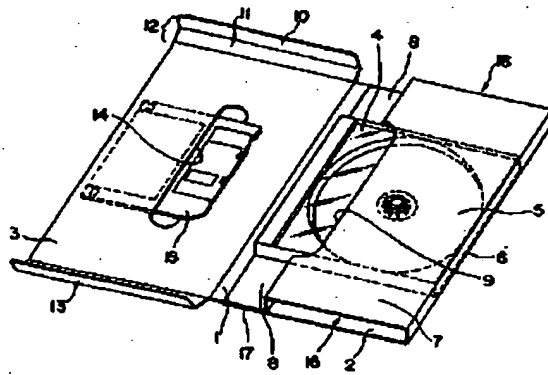
2

*【図2】 本考案のコンパクトディスクケース収納用ホルダーを閉じた状態の斜視図である。

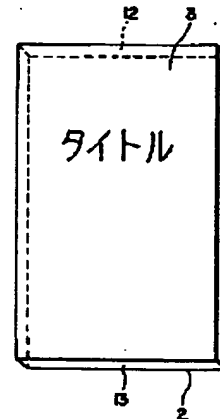
【符号の説明】

- 1 背表紙
- 2 表表紙
- 3 裏表紙
- 4 コンパクトディスクケース
- 5 コンパクトディスクケース収納部
- 6 表表紙の小口側辺縁
- 7 カバー部材
- 8 カバー部材の先端辺縁部
- 10 フラップの差込み部
- 11 フラップの蓋部
- 12, 13 フラップ
- 14 FD収納用袋体の開口部
- 15 3.5インチFD
- 16 ケース収納部の開口
- 17 フラップ受け入れ部

【図1】



【図2】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案はコンパクトディスクケースを収納するブック型のホルダーに関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来、コンパクトディスク（以下、CDという。）は、通常、表面の傷つきや塵等の付着を防止するため、開閉板付きの硬質のプラスチックケースに、簡単な解説書と共に収納されており、解説文が長い場合には、製本されて別売されるか、一つの箱型ケースに上記CDケースと共に収納されている。

また、最近のアプリケーションソフトには、フロッピーディスク（以下、FDという。）などの記録メディアと、ソフトに関する音楽が入ったCDケースと一緒に組み合わせて販売する場合が多く、この場合にも、一つの箱型ケースにFD等とCDケースが解説本と一緒に収納されている。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

しかし、上記従来のようにCD収納ケースと解説本を別々に描えたり、一つの箱型ケースにFDや解説本などと一緒に保管する場合は、扱いにくく、保管スペースをとるという問題があった。そこで、CDケースと解説本、FD等と一緒に組み合わせて収納できる小型で簡易なケースが望まれている。

本考案は、上記従来の問題点を解決するもので、上記FD、解説本などと一緒に収納できるコンパクトで簡易なブック型のホルダーを提供することを課題とする。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

本考案者は、上記課題を解決するために種々検討を重ねた結果、実用的に望ましいブック型コンパクトディスクケース収納用ホルダーを完成させた。

すなわち、本考案は、二つ折形式の箱型収納容器であって、一方の表紙の内側面にコンパクトディスクケースを収容する収納部が形成され、この収納部は、一

方の表紙の内側面と小口側辺縁から立ち上がって表紙の内側面と平行なカバー部材で袋状にされ、このカバー部材は、中央部よりも背表紙側に延びて、表紙内側面に折曲し、その先端辺縁部が表紙内側面に貼着され、その折曲部に前記ケース受け入れ用開口が形成され、他方の表紙の上下辺縁には、前記ケース収納部の上下開口に挿入されるフラップが一体に取り付けられ、その表紙の内側面には、CDに必要な組み合わせ部材を保持させることを特徴とするブック型コンパクトディスクケース収納用ホルダーを要旨とするものである。

【0005】

以下、本考案のブック型コンパクトディスクケース収納用ホルダー（以下、ホルダーと略記する。）について詳細に説明する。

本考案のホルダーに用いられる部材は、通常、板紙再生紙、段ボール紙などの軽量で適度な強度を有する厚紙類を使用するが、樹脂を含浸した紙及び同等の板体機能を有する樹脂板、例えば、ポリプロピレン、高密度ポリエチレンなどの板状体を使用してもよい。これらの厚紙は、厚さが0.15～1.0mmのものが実用的である。

【0006】

本考案のホルダーは、これらの厚紙を、背表紙をはさんで同じ方向に折り曲げてブック型に形成されている。

本考案のホルダーのCDケース収納部は、一方の表紙の内側面に、表紙の小口側辺縁からCDケースの厚みに対応する幅に立ち上がり、さらに表紙の内側面と平行に折り曲げられたカバー部材で袋状に形成され、このカバー部材は、表紙内側面の中央部ないし背表紙間で、表紙の内側面に折り曲げられ、その先端辺縁部が表紙の内側面に貼着される。この貼着に際し、後述する他方の表紙の上下辺縁に形成されるフラップの差込み部を受入れる部分を除いて、表紙内側面に接着することが重要である。

【0007】

上記カバー部材が表紙内側面に折り曲げてできる折曲部には、CDケースの収納部となる開口部が形成される。この開口部は、通常、折曲部の中央ないし、若干下側に設けられ、収納したCDケースがガタつかず、しかも出し入れがスムー

ズにできるよう、CDケースに対応する適切な大きさに形成される。

【0008】

また、他方の表紙の上下辺縁に一体に取り付けられるフラップは、本考案のホルダーを閉じたときに、一方の表紙の上下辺縁の内側に差し込んで、両表紙間の隙間をなくして、ホルダーを箱型にするものであって、先端の差込み部と蓋部で形成され、その差込み部は、前記CDケース収納部の上下開口と上記フラップ受入れ部に差し込まれる。したがって、フラップの蓋部は、箱の厚さに対応する幅に形成される。

【0009】

さらに、他方の表紙の内側面には、CDに関連して必要に応じて組み合わされるFDや解説本が取り付けられる。例えば、FDを組み合わせる場合には、FDを収納する袋体を他方の表紙の内側面に直接取り付けるか、このような袋体を内側に取り付け、その開口部が、表側に開けられた厚紙を、表紙の内側に取り付けて形成される。また、解説本を組み合わせる場合には、表紙の内側面に取り付けられるか、解説本をおさめるポケットを設けてもよい。

【0010】

また、本考案のホルダーのCDケース収納部は、両方の表紙の内側面に形成することもできる。この場合には、それに対応するフラップの厚みに形成される。

【0011】

本考案のホルダーを、厚紙などで形成した場合、表紙の表側若しくは内側面に、模様等を施した化粧紙を貼付することにより、ホルダー全体の意匠性と強度性が付与され、商品価値が高められる。

【0012】

また、本考案のホルダーにCDケースと共に収納されるものとしては、解説本や、3.5インチFD、5インチFD、MD（ミニディスク）、ICカードなどの記録メディアが挙げられる。

【0013】

【作用】

本考案のホルダーのコンパクトディスクケース収納部は、一方の表紙の小口側

辺縁からケースの厚みに対応する幅に立ち上がり、表紙内面と平行なカバー部材で袋状に形成されているため、コンパクトディスクケースの収納安定性を高めると共に出し入れを容易にする。

【0014】

本考案のホルダーは二つ折りのブック型であり、厚紙などで形成されているため軽量であり、またCDに必要な組み合わせ部材と一緒に収納できるので扱い易い。さらに、表紙を開じて、一方の表紙に形成されたCDケース収納部の上下開口部とフラップ受け入れ部に、他方の表紙の上下辺縁に形成されたフラップを差し込むことにより、保持機能に優れた箱型の収納ケースになる。

【0015】

【実施例】

以下、添付図面により本考案のホルダーの一例を具体的に説明する。

図1は、本考案のホルダーを開いた状態の斜視図であり、図2は、閉じた状態の斜視図である。

【0016】

図1に示されるように本考案のホルダーは、背表紙1をはさんで表表紙2と裏表紙3とからなるブック型に形成され、表表紙2の内側面には、CDケース4を収納するケース収納部5が形成されている。この収納部5は、表表紙2の小口側辺縁6から立ち上がり、表表紙2の内側面と平行に延びるカバー部材7とその延長上で表表紙2の内側面に折れ曲がり、その先端辺縁部8が表紙内側面に貼着されて袋状に形成され、その折曲部には、CDケース4の受け入れ用開口9が形成されている。

【0017】

また、裏表紙3の上下辺縁には、差込み部10と蓋部11から形成されたフラップ12、13が一体に取り付けられ、裏表紙3の内側面には、FD収納用の袋体（図示せず。）の開口部14が形成され、そこに3.5インチのFD15が収納されている。

本考案のホルダーは、図2に示すように、表表紙2と裏表紙3を開じて、フラップ12、13を、ケース収納部5の上下開口16とフラップ受け入れ部17に差

し込むことにより箱型に形成される。

【0018】

【考案の効果】

本考案のブック型コンパクトディスクケース収納用ホルダーによれば、従来の収納箱などに比べて製造が容易であり、製造コストを低く抑えることができる。

また、厚紙製であるためホルダーの軽量化を図ることができると共に、表紙を開じて箱型のケースにすることもできるので、コンパクトで簡易なCDケース収納用ホルダーを提供できる。